

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月20日

事業所名 てらびあぼけっと 岡崎福岡教室

保護者等数(児童数) 26 回収数 19 割合 73 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18件	1件	0件	0件	・個室もあるのでいいと思います。	・小集団活動では、サーキット遊びやリズムウォークをおこなう場所を工夫し、空間を活かしたセラピー内容を実施しています。 ・個室を設けて、個別活動に適した環境となるよう配慮しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12件	2件	1件	4件	・専門性はとても適切です。	・過去に、利用枠の増加と突発的な職員退職のタイミングが重なり、利用者の方にはご迷惑をおかけしてしまいました。今後は、職員増員による支援の充実と保護者のニーズに対応できるよう努めていきます。 ・保育士をはじめ、介護福祉士、理学療法士、特別支援学校教諭など、専門分野に特化した職員が常駐しています。それぞれの専門性を活かした支援を今後も行っていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18件	0件	0件	1件		・教室が3階にあることもあり、エレベーターが設置されています。 ・室内は段差や動きを妨げるような障害物もなく、今後も広々としたスペースで支援が行えるよう努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19件	0件	0件	0件		・毎日の掃除やこまめな換気を積極的に行うとともに、冬場は加湿器を活用することで感染症予防と快適な空間でのセラピーを心がけています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19件	0件	0件	0件		・定期的に行われる個別支援計画書の作成により、日々のセラピーでのお子さまの姿を担当者だけでなく、すべての職員が把握できるよう情報共有に努めています。 ・今後も保護者の方のご意見や思いを汲み取りながら、より良い支援となるよう職員一同努めていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18件	0件	0件	1件		・支援計画の内容は、個々の職員による意見を反映させながら複数の職員で作成しています。 ・お子さま一人一人の姿に合わせて適切な支援が行えるよう、分かりやすい説明で保護者の方としっかり共有できるよう心がけていきます。 ・家族支援の項目を取り入れ、より適切な支援が行えるよう対応しました。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18件	1件	0件	0件	・入って1ヶ月なので…。	・日々のセラピー内容は、児童発達支援計画の内容に沿った支援を意識して行っております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15件	1件	0件	2件 無回答 /1件		・複数人での担当制を導入することで、セラピー内容に偏りが出ないように意識しております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3件	3件	7件	6件		・現在は、地域の保育園や幼稚園等との交流は行っておりません。

保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18件	1件	0件	0件	・利用契約時に、保護者の方に向けてご説明させていただいております。ご不明点などがあれば、その都度対応させていただきます。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19件	0件	0件	0件	・今後も児童発達支援計画の作成時および変更時には、支援内容を保護者の方に分かりやすくお伝えするよう努めていきます。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7件	6件	2件	4件	保護者の方の負担になってしまうことも考慮し、すべての方に自宅での支援方法をお伝えしていません。保護者の方から求められたり、ご相談をいただいた際にはご案内させていただきます。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18件	0件	0件	0件 無回答 /1件	・日々のフィードバック時や連絡ノートにより、お子さまの様子を伝え合える機会を設けています。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17件	0件	1件	1件	・6ヶ月に1回の個別支援計画作成時に、保護者の方と面談する機会を設けています。 ・ご希望の方には、気軽に相談できる場として面談の機会も設けているので、周知できるよう努めていきます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2件	3件	8件	6件	・現在は、父母の会活動や保護者会などの開催はおこなっていませんが、今後ご要望があれば、検討していきます。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16件	1件	0件	2件	・相談内容によっては一度事業所内へ持ち帰り、職員間で議論してから保護者の方へ最適なお返答をできるよう対応しています。 ・今後もより一層相談体制を整え、保護者の方に周知していけるよう努めていきます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18件	1件	0件	0件	・お子さん一人一人に合った支援内容で、伝わりやすく理解しやすいよう配慮しています。保護者の方には、日々のフィードバック時や連絡帳を通して、支援内容明確化するよう努めています。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8件	1件	4件	6件	・全保護者の方に教室からのお知らせを届けるとともに、迅速かつ確実な連絡手段として「公式LINE」の導入を始めています。 ・自己評価結果については、今後公式ホームページにて公表させていただきます。	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18件	0件	0件	1件	・個人情報記載された書類は、鍵付き保管により細心の注意を払って取り扱っております。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10件	4件	0件	5件	・児童発達支援ガイドラインに記載されている年2回の防災訓練を実施しています。今後は、マニュアル作成も強化してより安全にご利用いただけるよう努めてまいります。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5件	4件	0件	10件	・参加したことがないです。 ・すべてのお子さんが訓練に参加出来てはませんが、経験できていないお子さんも確実に安全に避難できるよう、職員間での訓練やマニュアル確認等を積極的に行ってまいります。 ・今後は、職員のみでの訓練やマニュアルの作成・定期チェックなども行ってまいります。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18件	1件	0件	0件	・通い始めた頃から今もずっと楽しみにしていて、大好きなところみたいです。いつもありがとうございます。 ・自分から張り切ってカバンを持って車に乗り込んでいます。とても楽しそうです。まだ通所したばかりなので分からないことが多いですが、今のところ、満足しております！これからもよろしくお願います。 ・現在お休みになってしまう日があり、子どもががっかりしているので、希望日に入れるように早くなると嬉しいです。 ・嫌がる時もありますが、お休みの日は行くのが楽しみ～♪と言っています。いつもありがとうございます。	・お子さんが楽しく通っていただけることはもちろん、保護者の方にとっても安心できる場所として信頼していただけるよう、職員一同さらに励んでいきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	17件	2件	0件	0件	・まだ分かりかねます。 ・今後も、職員一人一人の質の向上に努めていくとともに、安心してご利用いただけるような雰囲気づくり・組織運営管理に努めていきます。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年2月 20日

事業所名 てらびあぼけっと 岡崎福岡教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・限られたスペース内で、支援内容に合わせて場所の使い方を工夫し、お子さんが気持ちよく活動できる環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・児童発達支援事業所(10人以下)の人員配置基準である。管理者、児童発達支援管理責任者、保育士または児童指導員2人以上に加え、理学療法士、保育士を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・終礼での話し合いや、ABA行動分析できる時間が設けています。	・マニュアル等が不十分な点があるので、必要に応じて作成していくと共通理解ができるかと思えます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・今後は、保護者と職員間での認識のすり合わせを行い、業務改善に努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・自己評価表の結果をホームページにて公表するとともに、必要な箇所は改善していくことでよりよい支援に繋げていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者評価が行われたのか存じ上げません。 ・相談支援員さんからの意見を取り入れながら、業務改善につなげています。 ・今後は、現在は保護者の方の評価と社内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・空き時間を利用して、取り組んでいる。 ・子どもがいない際や必要に応じ、研修がある点。	・時間の関係でやれていない事があるため、月1回以上は実施したいです。 ・外部研修はもちろん、事業内研修の機会も積極的に設けて、今後も職員と支援そのものの質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・外部での発達検査の結果や診断書などを参考にしながら、支援計画作成に反映させています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・担当制になったことで、目を通すことができるようになった。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・担当を決め、担当が中心となってみんなで話し合っている。 ・他のセラピストに相談する時間がある。	・職員間での情報共有や支援に際しての細かいすり合わせ等を行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・子どもの様子に合わせて、課題・強化子を用意している。	・担当に関して、適切にプログラムをおろす。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・集団遊びや集団活動を取り入れている。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・担当表を作成し、見通しをもってセラピーに入れるようにしている。	・ホワイトボードによる朝礼はないが、担当は分かるようにしています。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・セラピー内容・子どもの様子を報告し、連携がとれるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが中心のため、今以上に記録で残すことができるよりよいセラピーに繋がるのではと思います。 ・今後は、全クール終了後に、当日のセラピーの振り返りや情報共有などを行う時間を決めて設けることで、優先的に職員間で周知できる体制を整えていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ABA分析ができるよう分析シートを作成した。 ・必要があれば、行動分析を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に記録をとり、検討ができると思っております。 ・セラピーでの反省点がある場合には、自身で分析後に共有ファイルで保管し、いつ・誰が見ても振り返りができるようにしていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・分かりかねます。 ・分からない。 ・要望のある方には、相談員さん・保護者・職員間で会議を実施したことがあります。今後も、必要に応じて担当者会議の機会を設けていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談員様と話し合い、教室での様子を伝えしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援相談員さんと連携を取りながら、適宜支援方法を共有しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、対象のお子様は通所しておりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、対象のお子様は通所しておりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・現在、教室に通っている就園年齢児すべてのお子さまがすでに地域の園に通っているため、移行支援は行っておりません。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・就学に関するご相談はお受けしておりますが、学校機関と直接的な情報共有はしておりません。 ・今後は必要に応じて、就学先と情報共有をおこなう機会を設けて、連携を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・支援相談員さんによる助言やアドバイス等をいただきながら、支援内容に反映させていただいています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・現在、そのような会議には参加していませんが、必要に応じて会議への参加を検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、フィードバックの時間がしっかりととられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を通してお子さんの様子や発達課題を共有しているほか、毎回のセラピー後にフィードバックの中で共有させていただいています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の負担にならないことを最優先に考えています。ご要望があれば、必要に応じて家族支援を行っていきます。 	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・ご契約時に、運営規程や利用者負担等に関する説明を明確に説明していくよう努めていきます。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			・これまで、保護者会等の開催はしておりません。 ・今後ご要望などがあれば、可能な範囲で検討していけたらと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		・避難訓練等は○。 ・定期的には×。 ・Instagramによる配信や、書面による行事の予定をお知らせしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			・掲示物等、事務室の書類で注意が必要だと感じる。 ・個人を特定するもの・書類関連が保管している事務所の小窓にカーテンをつけ、外部から見えにくくなるよう配慮しました。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				・お子さんや保護者の方が見やすく理解しやすいよう、セラピー内で使用する素材はもちろん、教室内の掲示物やお知らせなどを視覚的支援に配慮しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			・これまで、地域住民の方に向けた行事の発信は、行っておりません。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・おう吐処理をしやすいよう、マニュアルを作成した。	・マニュアルがないものもあり、分かりやすいものが必要だと感じる(緊急時の役割分担など)。 ・定期的に、職員間でマニュアルの確認と、必要とするマニュアルの作成に努めていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				・定期的に避難訓練や緊急時物品の確認を行いました。 ・さまざまな非常時を想定した訓練を、今後実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○			・こまめに、ヒヤリハットの事例を記録に残していくよう努めます。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				・分からない。 ・事業所内研修にて、虐待に関する会議をおこない、職員間で周知しています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				・契約時の書類でのご説明や、教室掲示によるお知らせをおこなっています。	